

庁議記録（令和7年1月6日開催分）

《その他事項》

◆市長から

今年は大きな災害や事故もなくおだやかな年明けとなりました。今年一年間おだやかであってほしいものです。

年末に閣議決定された税制改正大綱によると、いわゆる「年収103万円の壁」の見直しなど税制改正については、現時点では心配していたほど地方に大きな影響や負担はない方向が示されており、来年度予算編成にあたっては今のところ大きな減税がないという前提で取り組みます。

一方、人口減少が深刻化するなか国は地方創生を進めるとしています。

可児市らしい地方創生とは何か。まずは、高齢者の皆さんがおだやかに安心して可児市に暮らし続けられるまちづくりを続けます。

また、東京一極集中が加速する現状で、子ども達が、可児市に住み続けることを将来の選択肢に加えられるようにするためには、子ども達に可児市の魅力、暮らしやすさ、働きやすさを分かってもらう必要があります。そして、それをどのように伝えていくかが重要です。そのために可児市の魅力である自然や歴史、文化、産業などにさらに磨きをかけていきたいと思えます。

令和7年を可児市らしい地方創生の出発点として、どうしたら将来へ希望のもてるまちづくりができるか、職員それぞれの立場で臨んでいただくようお願いし、新年にあたっての決意とします。心身の健康に気を付け1年間よろしく申し上げます。